

令和3年度 第2回松江市入札監視委員会

議 事 概 要

開催日及び場所	令和3年11月11日(木) 松江市役所 第2別館2階 研修室	
委 員	委員長 大屋 誠 (松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授) 委 員 藤本 晴久 (島根大学法文学部法経学科准教授) 安部 寿鶴子 (道の駅本庄企業組合専務理事) 永野 茜 (弁護士) 後藤 勇 (公認会計士)	
審議対象期間	令和3年4月1日～令和3年7月31日	
報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ● 落札率等の状況について ● 入札方式別発注工事等の状況について ● 指名停止等の運用状況について 	
審 議 事 項	抽出案件数 5件	
	(備考) 抽出の考え方(抽出担当委員) 次の点に着目し、案件の抽出を行った。	
	一般	松江市北工場解体工事 ● 契約金額が最も高く、入札参加者数が1者であった
		千鳥橋改架工事 ● 落札率が最も低かった
	指名	惣津地区増殖場整備工事 ● 指名業者数が4者と少なかった 東出雲複合施設建設工事実施設計業務委託 ● 契約金額が高く、落札率が極めて低かった
随契	松江市総合文化センター大規模改修工事 ● 契約金額が最も高かったことと随意契約の理由	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見又は勧告の内容	なし	

※ 参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札
工事名	松江市北工場解体工事
工期	令和3年10月7日～令和5年9月29日
工事種別	解体工事
工事概要	<p>工事場所：松江市鹿島町</p> <p>工事概要：一般廃棄物焼却処理施設の解体</p> <p>処理能力 1号炉 100t/日 2号炉 100t/日</p> <p>炉形式 1・2号炉 全連続焼却式回転ストーカー＋水噴霧式 ガス冷却＋KALM型乾式排ガス処理＋電気集じん機</p> <p>工場棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地下2階地上5階 床面積 5886.72㎡ 煙突高 59m</p> <p>管理棟 鉄筋コンクリート造地上2階 床面積 836.37㎡</p> <p>その他 テニスコート・洗車場</p>
入札参加資格	<p>下記第1グループ1者と第2グループ1者で構成される2者、若しくは第1グループ1者と第2グループ2者で構成される3者の組み合わせによる特別共同企業体であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各構成員の出資比率は、2者の場合は30%以上、3者の場合は20%以上であること。 ・特別共同企業体の代表者は第1グループとし、施工能力及び出資比率が最大であること。 <p>○第1グループ：特別共同企業体の代表者</p> <p>①格付け又は総合点数 解体工事における総合点数が1000点以上の者</p> <p>②営業所所在地 指定なし</p> <p>③工事实績 元請(共同企業体の場合は(経常JVを除く)代表者)として、国(公団、公社を含む)、都道府県(公社を含む)又は市町村(公社、合併前の旧市町村等を含む)が、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」(厚生労働省基発0110第1号)に基づき発注した焼却能力100t/日以上一般廃棄物処理施設の解体工事の工事实績があること。</p> <p>④配置技術者 次の(ア)、(イ)、(ウ)を全て満たす監理技術者を工事現場に専任で配置できること。</p> <p>(ア) 1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士、又は建設工事業に関しこれと同等以上の能力を有する者として国土交通大臣が認定した者。 建築一式工事における総合点数951点以上(格付A級)の者。</p> <p>(イ) 解体工事業に係る監理技術者資格証の交付を受けており、かつ監理技術者講習・登録解体工事講習(平成27年度までの(ア))</p>

	<p>の施工管理技士等合格者)を受けている者。</p> <p>(ウ) 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会を受講した者。</p> <p>○第2グループ：特別共同企業体の構成員</p> <p>①格付け又は総合点数 解体工事における総合点数が800点以上の者</p> <p>②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。</p> <p>③工事実績 元請又は共同企業体(経常JVを除く)の構成員(ただし出資比率20%以上)として、1契約で1棟の延床面積が3,500㎡以上の鉄筋コンクリート造の建物解体工事の施工実績があること。</p> <p>④配置技術者 次の(ア)を満たす主任技術者を工事現場に専任で配置できること。 (ア) 1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士、又は建設工事業に関しこれと同等以上の能力を有する者として国土交通大臣が認定した者。</p>				
入札参加資格確認申請業者数	1者	入札参加業者数	1者	無資格業者数	なし
予定価格(税込)	1,206,935,400円				
調査基準価格(税込)	965,549,200円				
契約金額(税込)	1,152,800,000円(落札率:95.51%)				
入札の経緯及び結果	<p>令和3年7月21日 開札(同日落札決定)</p> <p>入札参加申請に1者の申請があり、事前に資格審査を行った結果、参加資格有りと確認。その後第1回目入札で1者の応札があり、予定価格以下及び調査基準価格以上での応札であったため、東亜建設工業・カナツ技建工業特別共同企業体に落札決定。</p>				

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札				
工事名	千鳥橋改架工事				
工期	令和3年6月22日～令和4年3月14日				
工事種別	土木一式工事				
工事概要	工事場所：松江市殿町 工事概要：木橋架替工 L=14.4m 橋梁製作工 V=20t 橋梁架設工 N=1 橋 既設橋撤去工 V=20t				
入札参加資格	①格付け又は総合点数 A等級の者。 ②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。 ③工事実績等 (1)国（公団、公社を含む。以下同じ。）、都道府県（公社を含む。以下同じ。）又は松江市（合併前の旧市町村を含む。松江市にあつては公社等を含む。）発注の工事において、1契約で5000万円以上の土木一式工事 (2)一級建築施工管理技士又は一級建築士を雇用していること。 ④配置技術者 建設業法に基づく、主任技術者又は監理技術者を配置すること。監理技術者にあつては、土木工事業に係る監理技術者資格者証の交付を受けており、かつ監理技術者講習を受けている者であること。				
入札参加資格確認申請業者数	5者	入札参加業者数	5者	無資格業者数	なし
予定価格（税込）	112,390,300円				
調査基準価格（税込）	なし（特定製品比率が70%を超えるため）				
契約金額（税込）	75,636,000円（落札率：67.30%）				
入札の経緯及び結果	令和3年6月15日 開札（同日落札決定） 第1回目入札で5者の応札があり、内4者が予定価格以下及び調査基準価格以上での応札であった。この内、最も入札価格の低い1者について競争入札参加資格の事後審査を行った結果、参加資格を満たすことが確認できたため、（有）協和工業に落札決定。				

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	惣津地区増殖場整備工事
工期	令和3年6月29日～令和3年11月16日
工事種別	土木一式工事
工事概要	<p>工事場所：松江市美保関町</p> <p>工事概要：増殖ブロック（4t型）製作・据付 N=14個 増殖ブロック（2t型）製作・据付 N=10個 充填石工 V=10 m³</p>
工事のランク	なし
指名業者数	4者
指名業者を選定した考え方	<p>市登録業者で、下記の条件を満たす4者全者を指名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「土木工事業」又は「浚渫工事業」の建設業許可を受けている者で、港湾・漁港漁場及び海岸工事の施工実績があること。 ● 公共工事において主作業船を使用する海上工事の施工実績があること。 ● 電子入札登録者であること。
入札参加業者数	4者
予定価格（税込）	4,973,100円
最低制限価格（税込）	4,482,060円
契約金額（税込）	4,950,000円（落札率：99.54%）
入札の経緯及び結果	<p>令和3年6月24日 開札</p> <p>第1回目の入札で4者が応札し、3者が予定価格超過、1者が予定価格以下の応札であり、最低制限価格を上回っていたため、カナツ技建工業(株)に落札決定。</p>

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
業務名	東出雲複合施設建設工事実施設計業務委託
履行期間	令和3年7月28日～令和4年3月10日
業務種別	建築関係建設コンサルタント
業務概要	業務場所：松江市東出雲町 業務内容：支所・支所倉庫、公民館・公民館倉庫の新設及び、既存東出雲保健相談センターを公民館、図書館、子育て支援センター、包括支援センターとして改修するための設計業務委託
業務のランク	なし
指名業者数	8者
指名業者を選定した考え方	市登録業者で、下記の条件を満たす38者のうち10者をローテーションで指名。 <ul style="list-style-type: none"> ● 市内に本社（本店）を有する事業者であること。 ● 建築士の資格を有する者4名以上（内一級建築士2名以上）が在籍していること。 ● 電子入札登録者であること。
入札参加業者数	7者
予定価格（税込）	（非公開）
調査基準価格（税込）	（非公開）
契約金額（税込）	14,850,000円（落札率：（非公開））
入札の経緯及び結果	令和3年3月30日 開札 第1回目の入札で3者の応札があり、最も入札価格の低かった1者は内訳書の不備で失格となり、残り2者中1者は予定価格超過、残りの1者は予定価格以内、最低制限価格以上であったため、（有）三島工業所に落札決定。

抽出事案説明書

入札方式	随意契約
業務名	松江市総合文化センター大規模改修工事実施設計業務委託
履行期間	令和3年6月11日～令和4年3月15日
業務種別	建築関係建設コンサルタント
業務概要	業務場所：松江市西津田六丁目 業務内容：平成29年度に基本設計を行った松江市総合文化センター大規模改修工事に係る実施設計業務委託
随意契約の理由	(非公開)
適用条項	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 (不動産の買入れ又は借入れ、普通地方公共団体が必要とする物品の製造、修理、加工又は納入に使用させるために必要な物品の売払いその他の契約でその性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき。)
契約予定額(税込)	非公開
契約業者名	矢野・小草設計共同企業体(プロポーザル「優秀者」)
契約金額(税込)	83,050,000円(落札率：非公開)
経過	随意契約審査会承認日：令和3年3月25日 契 約 日：令和3年6月10日

1. 落札率等の状況について

(説明要旨)

【建設工事】

○落札率の推移

令和3年度の7月までの平均落札率は92.74%で、令和2年度と比較して5.29ポイント下落している。

これは昨年度の落札率が、新庁舎関連工事で引き上げられて高かったこともあるが、今年度についても、1億円を超える橋の架け替え工事の2つの案件において、60%台と70%台の低い落札率の応札があったため、昨年度と比べて低くなっている。

通常の工事は品質確保の観点から最低制限価格を設けて、極端な低い価格での落札はできないようにしているが、今回の落札率の低かった橋の架け替え工事については、二次製品の比率が高く、完成品の品質等に影響がないということで、最低制限価格を設けていなかったため、低い価格でも落札できている。

また、この落札率の算出方法はすべて案件の予定価格と落札額の合計から算出する加重平均により算出しており、この算出方法によると大規模な事業の落札率の影響が大きくなってしまふ。前回の入札監視委員会において、個別の落札率の平均の提案をいただいたので、今回から単純平均として載せている。この単純平均を見ると、各年度での大きな変動はなく、例年92～94%となっていることが見てとることができる。

○月別入札件数と落札率の推移

7月までの入札件数は56件と昨年同時期の77件よりも約20件減少している。工事については、通常4月から6月が閑散期となるため、市ではそれを解消するためにできるだけ、年度の前半での発注を進めているが、今年度については、前年末から発注をかけその繰越事業で平準化を図っているもの。令和2年度末の3月は今年度4月から着手できるように、44件もの発注をしているところ。

落札率については、5月がかなり低い落札率となっているが、これも橋の架け替え工事の影響によるもの。

○工種別落札率の推移

どの業種についても例年どおり95%から98%で推移しているが、土木においては橋の架け替え工事2件の影響で低くなっている。

○価格帯別落札率推移

価格帯による特段の特徴はないが、こちらも橋の架け替え工事における低い落札率の影響で、1億円～1億5,000万の価格帯において落札率が低くなっている。

○入札執行状況

令和3年度7月までの不調・不落の件数は7件。その7件については、指名入替や設計変更による再入札を3件し、不落随契を2件、取止めを2件としている。

この不落不調件数については、昨年度の8件と変わらないが、今年度の後半に向けて、災害工事の発注が増えるため、業者の手持ち工事の関係で不落や不調が多くなると見込まれるため、なんらかの対応が必要と考えている。

【業務委託】

○落札率の推移

令和3年度の7月までの落札率は89.39%と例年と比べて低くなっている。

これは、「東出雲複合施設建設工事実施設計業務委託」において落札率50%台だったこと、そのほかに70%台の案件が複数あったことが要因。

○月別入札件数と落札率の推移

業務委託については、工事とは異なり発注の平準化は図っていないので、予算が議会を通過したあとの4月からの準備となるため、例年通り5月、6月ぐらいから増加している。

○業種別落札率の推移

建築設計において、50%台と低くなっているが、「東出雲複合施設建設工事実施設計業務委託」において落札率が50.27%だったことが要因。

○価格帯別落札率推移

2,000万～3,000万円未満が低い落札率になっているが、「東出雲複合施設建設工事実施設計業務委託」の低い落札率が原因となっている。

○入札執行状況

令和3年度7月までの不調・不落の件数は1件であり、その1件については8月に指名入替による再入札を行い業者決定している。

2. 入札方式別発注工事等の状況について

添付の資料を参照いただきたい。(詳細説明は省略)

質問及び意見	回答
建設工事の結果を見ると、指名競争入札に加え一般競争入札でも1者入札が多くなってきている。業者としては4～7月は余裕がある時期だと思うが、できるだけ分けて早目に発注するという方針が逆にマッチしていないのではないか。	業界の状況としては、年度末から交通誘導員がないという状況がここ数年続いている。今年度も災害復旧工事の発注の準備をしているところであり、以前は受注機会を増やすために分割という方針を取っていたが、現在は数を増やすのではなく、できるだけまとめて発注するようにしている。また、下請けの作業員不足も業界の喫緊の課題となっている。
市だけではなく、国や県についても発注時期の平準化のために2・3月に結構な数が発注されている。これから災害復旧工事が増えるということだが、発注数はここ数年で多くなっているか。	発注件数は少しづつ増えている。松江市だけでも増えているので、国・件含めればさらに増えているだろう。それによって一般競争入札でも1者入札が増えている結果となっていると考えられる。

審議結果：全委員了承

【審議事項について】

1. 一般競争入札【松江市北工場解体工事】

※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 **資料3-1** のとおり。

○第1グループは19者、第2グループは8者条件をクリアしており最高で8JV参加可能だった。しかし、第2グループは主たる営業所を松江市内に有することを条件としており、大規模でかつ複雑な解体工事経験が少なく敬遠した可能性があるかと推察される。

また、出資比率も30%以上としており金額としてもかなり大きくなるため相当の体力が必要となり敬遠した可能性があるかと推察される。

質問及び意見	回答
<p>今回1者の参加のみということだが、第1グループは全国規模の業者で、第2グループは松江市内に主たる営業所を有する業者ということで、いくら第1グループが取りに行きたくても第2グループが乗り気でなければJVが組めず参加者が少なくなるということか。</p>	<p>第1グループは受注意欲があったものの、第2グループは特殊な工事であるため経験が少ないことと、金額が大きいため少しでも赤字を出すと大きな損失につながるため敬遠したのではと考えている。</p>
<p>大規模な解体はこれで終わりか。今後も同様の解体工事があるのであれば、同じような結果が想像される。複数の業者が参加できるよう工夫が必要ではないか。</p>	<p>南工場と北工場の2件特殊な解体工事を行ったことにより、第2グループの地元2者は施工経験ができていますので、もし次回があれば2者は参加できるため競争性が働くと考えている</p>
<p>工場棟、管理棟、その他の解体という違う建物の解体であることから、分割発注はできなかったか。そうすれば受注機会が増えたり、規模が小さくなることにより参加できる業者が増えるのではないか。</p>	<p>北工場は動線が1つしかなく、複数業者が別々に受注した場合非常に効率が悪くなること、別々に廃材を置くスペースがないなど、総合的に判断して一括で発注することとした。</p>
<p>今後はエコクリーン松江のみ稼働するということだが、耐久性やリスク管理の考え方を教えてほしい。</p>	<p>エコクリーン松江は3炉で回しており、どれか壊れた時には残りの2炉で回している間に修理をする。耐用年数は実施設計の際に30年間使用できることとしている。平成23年から稼働しており、現在10年経過している。</p>
<p>審議結果：全委員了承</p>	

2. 一般競争入札【千鳥橋改架工事】

※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書資料3-2のとおり。

○予定価格に対し、落札率が67.30%と低くなったのは、工事費の特定製品比率が70%を超え調査基準価格を設定しなかったことから、木材が安価で入手可能であったと推察される3者が低価格で入札し、最も安価であった(有)協和工業に決定したと考える。

質問及び意見	回答
<p>工事はすべて電子入札のはずだが、落札業者が紙入札で参加しているのはなぜか。</p>	<p>建設工事と測量等業務委託は原則すべて電子入札だが、業者側に不測の事態が発生し、電子による入札や添付書類の送付が困難な場合は事前に承認申請をし、承認を得た上で紙入札することができる。</p>

<p>特定製品比率が高いということだが、木製の橋の製品比率というのがイメージがわからない。木材に既製品を使うということか。</p>	<p>事前に部品を工場で製作し、現地ではそれを組み立てるのみというもの。今回の金額の内ほとんどが材料費だったということ。</p>
<p>県産・国産・海外産問わず、材料費が安ければ有利だったか。</p>	<p>今回の工事の資材については、まず市産材、用意できない場合は次に県産材、それでも用意できない場合は全国でという3段階で設定している。外国からの輸入材は考えていない。</p> <p>ただ、業界からは「ダンピングを誘発するのではないか」との懸念も出ており、今後同様の案件がある場合は見直しも必要だと考えている。</p>
<p>今回土木工事であるにもかかわらず、建築技術者の雇用が要件に入っている理由は何か。</p>	<p>木材加工が必要であり、その照査を会社内で行わなければならないため、建築技術者の雇用を条件としたが、現場についてはほぼ土木工事のため、発注種別は土木一式で発注した。</p>
<p>ここまで安く特定製品が調達できる合理的な理由や品質の確保はどうやって調査するか。</p>	<p>当該業者は前年度にも別の木橋の架け替えを施工しており、それを踏まえると入手ルートを確立していると推察している。また、品質の確保については品質管理表を提出させて確認しており、工場で製作するものはそこに行き行って立ち合い確認をしている。</p>

審議結果：全委員了承

3. 指名競争入札【惣津地区増殖場整備工事】

※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 資料 3-3 のとおり。

○本工事は、製作した増殖ブロックを作業船で海上に運搬し、据付する特殊工事であることから、指名業者選定に当たっては、市内業者及び市内に支店等のある業者で、「土木工事業」又は「浚渫工事業」の建設業許可を受けており、港湾・漁港漁場及び海岸工事の同種工事の施工実績がある事を条件に、市内業者2者及び市内に支店等のある業者2者、合計4者を指名した。

全社とも応札意欲があったが、施工実績が豊富であり積算能力の高いカナツ技建工業（株）が落札者になったものと推察する。

質 問 及 び 意 見	回 答
<p>指名した4者すべてが入札していることから全者受注意欲はあったと思うが、作業船を使うなど特殊な工事業者数が限られている中、今後新規参入など見込めるか。</p>	<p>なるべく増えてほしいとは思っているが、主作業船が必要など現状増えるのは厳しいと考えている。</p>
<p>4者の内市内業者は2者であり、その他は益田や出雲の業者が入っている。このご時世に自社で船を持つと経費が掛かるので新規参入はむずかしいだろう。一方でこの業者たちがいなくなると発注できなくなってしまうため、同種工事の発注に工夫いただけたらと思う。</p>	<p>今後のやり方について検討する。</p>

審議結果：全委員了承

4. 指名競争入札【東出雲複合施設建設工事実施設計業務委託】

※業務概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 **資料3-4** のとおり。

○松江市公共工事低入札価格調査委員会の結果のとおり、特別な機械の使用がなく、現地にも近いことにより落札率が極めて低くても適切に業務が遂行されると判断したものの。

質問及び意見	回答
令和2年度に「当該施設の基本計画策定業務を受注している」とあり、慣れているため初期段階の費用が要らないということかもしれないが、人件費は設計額を超えているにもかかわらず、入札額は設計額の約50%というのはいかか。諸経費はほとんどなしということなのか。	そのように見えるが、実は以前に基本計画策定を受注していることから、初動の人件費が不要となりこの金額でも諸経費に回せるためと考えられる。
過去に受注経験があるからと言って設計金額の半分でも落札できてしまうと他業者の新規参入は見込めないし、それが理由でコストカットにつながるのであれば、そこについて何らかの情報提供の場を他業者にも設けないとフェアではない。 自分たちの立場としては、適切な競争が行われる中で適正な入札が行われるようにしてほしい。半額近い数字で落札されるとダンピングととられかねないし、そこで働く方の給料に影響するので、次回以降こうした案件についてはやり方を考えていただきたい。	同様の案件がある場合には事前の情報提供も含めやり方を考えたい。ただ、設計業務自体が少なくなってきたのもあり、受注意欲は高かったと考えている。島根県の設計業務でも同様のことが起きていると聞いている。

審議結果：全委員了承

5. 指名競争入札【松江市総合文化センター大規模改修工事実施設計業務委託】

※業務概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 **資料3-5** のとおり。

質問及び意見	回答
工事の一部だけが高度な専門性が必要であれば、そこを分割してプロポーザルとし、他は入札とする分割発注の視点はないか。	音響が全国でも有数の建物であり、それに天井の構造が大きく影響する。そうすると全体の構造に影響が及ぶため、分割発注は困難と考えている。 耐震であったり、トイレの改修工事などは部分的にできるかもしれないが、総合文化センターのような複合施設になると30年、50年先を見据えて新たな魅力のある施設にすることも含めた計画となると一体で考える必要があると考えられる。
建築基準法が改正されたが、耐震はいつまでにやらなければならないか。	大規模改修をするときはそのときにやらなければならないが、何もしないのであれば期限はない。学校は期限が決まっているが、当該施設はない。

「調査及び基本設計業務」には今回の業者は参加しているか。	参加していない。
審議結果：全委員了承	
【報告事項】	
①指名停止等の運用状況について	
令和3年4月1日～令和3年7月31日の期間で指名停止は無し。	
質問及び意見は特に無し。	
【その他】	
〔次回開催予定について〕 令和3年度第3回委員会は2月頃に開催することとし、日時は事務局で調整する。	
以上	